



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月5日

上場会社名 日本パーカライジング株式会社
 コード番号 4095 URL <http://www.parker.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) 里見 多一
 (氏名) 田村 裕保
 配当支払開始予定日

TEL 03-3278-4333
 平成24年12月10日

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	44,402	16.9	6,624	30.8	7,416	26.1	3,962	24.7
24年3月期第2四半期	37,999	△1.8	5,064	△13.5	5,879	△9.1	3,176	△9.1

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 3,600百万円 (24.2%) 24年3月期第2四半期 2,898百万円 (19.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	63.94	—
24年3月期第2四半期	51.26	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	138,233	90,135	55.0	1,226.19
24年3月期	130,517	87,273	56.4	1,188.49

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 75,979百万円 24年3月期 73,645百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
25年3月期	—	10.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	90,000	6.2	12,500	9.5	14,000	8.5	7,500	18.8	121.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期連結会計期間より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区分することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料5ページ「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期2Q	66,302,262 株	24年3月期	66,302,262 株
25年3月期2Q	4,338,016 株	24年3月期	4,336,945 株
25年3月期2Q	61,965,025 株	24年3月期2Q	61,967,220 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項は、四半期決算短信(添付資料)4ページの「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 継続企業の前提に関する注記	12
(5) セグメント情報等	12
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	13
4. 補足情報	14
(1) 四半期毎の業績の推移（連結）	14
(2) 報告セグメントの所在地別売上高及び利益又は損失の金額に関する情報	15
(3) 四半期毎の業績の推移（提出会社個別）	16

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間(平成24年4月1日から平成24年9月30日まで)における経済環境は、ユーロ圏の金融危機などの不安定要素には具体的な解決策が見当たらず、欧米諸国の景気は回復感の乏しい状況で推移いたしました。また、世界経済の牽引役の一つである中国も、輸出減少から製造業の在庫調整が顕著となり経済成長が鈍化するなど、他のアジア諸国を含めて全般的に低調に推移いたしました。一方、国内経済は、東日本大震災の復興需要やエコカー減税などの経済政策により緩やかな回復基調を辿りましたが、円高の定着や海外市場での競争力の低下などにより貿易赤字が継続するなか、領有権の問題による中国、韓国などとの関係悪化に伴い、進出企業は現地生産計画の見直しを迫られるなど、明らかな景気停滞を感じさせる状況で推移いたしました。

当社グループを取り巻く事業環境も、主要な供給先であります自動車業界では、歴史的な円高が進むなか、自動車部品メーカーも含め海外生産のシフトがますます強化されるとともに、高品質、低コストの厳しい要求が高まっております。また、鉄鋼業界も海外メーカーとの市場獲得競争が激化するなど、金属表面改質の事業環境も大変厳しい状況で推移いたしました。

このような厳しい経済環境において当社グループでは、変化する海外ビジネスの需要を着実に捉えるため、新技術の提供と新規顧客の開拓などを強化するなど、積極的な海外事業の展開に努めるとともに、将来を見据えた新技術の創出のため研究開発活動に注力してまいりました。また、グループの連携強化と事業再編成を進めるとともに、原材料調達効率化などあらゆるコスト削減に取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期累計期間の連結業績は次のようになりました。

【連結決算の概況】

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
当第2四半期累計期間 (平成25年3月期)	44,402	6,624	7,416	3,962
前第2四半期累計期間 (平成24年3月期)	37,999	5,064	5,879	3,176
増減金額	6,403	1,559	1,536	785
増減率	16.9%	30.8%	26.1%	24.7%

売上高は44,402百万円と前年同四半期に比べ6,403百万円(16.9%)と昨年の業績が東日本大震災の影響により低迷していたこともあり増収で推移いたしました。事業の種類別セグメント毎の売上高は、前年同四半期に比べ薬品事業が9.4%、装置事業が62.6%、加工事業が10.0%、その他が37.9%とそれぞれの事業が増収で推移しておりますが、国内外で消費低迷が顕著になってまいりました当第2四半期会計期間では、主要事業であります薬品事業と加工事業が第1四半期会計期間の売上高を下回るなど厳しい状況で推移しております。また、地域別セグメントの売上高では、前年同四半期に比べ国内が15.7%、アジアが16.1%、欧米が41.2%とそれぞれ増収で推移いたしました。

(セグメントの増減率は外部顧客売上高を基礎にしております。)

営業利益は6,624百万円と前年同四半期に比べ1,559百万円(30.8%)の増益となりましたが、第2四半期会計期間は第1四半期会計期間に比べ増益幅は減少傾向で推移しております。売上総利益は前年同四半期に比べ1,802百万円(12.3%)の増益となり、販売費及び一般管理費は9,788百万円と前年同四半期に比べ242百万円(2.5%)の増加となりました。その内訳は、人件費が3.8%、経費が0.6%それぞれ増加いたしました。

経常利益は7,416百万円と前年同四半期に比べ1,536百万円(26.1%)の増益となりました。営業外の収支は792百万円の収入となり、前年同四半期に比べ23百万円減少いたしました。主な増減といたしましては、株式の100%取得により、大韓パーカライジング株式会社が持分法適用会社から連結子会社となり、持分法による投資利益が87百万円減少いたしました。この結果、当第2四半期累計期間の総資産経常利益率(ROA)は5.5%と前年同四半期に比べ0.9%増加いたしました。

四半期純利益は3,962百万円と前年同四半期に比べ785百万円(24.7%)の増益となりました。

【事業の種類別セグメントの概況】

(単位：百万円)

報告セグメント	外部顧客に対する売上高				セグメント利益（営業利益）			
	当第2四 半期累計	前第2四 半期累計	増減額	増減率	当第2四 半期累計	前第2四 半期累計	増減額	増減率
薬品事業	19,184	17,537	1,647	9.4%	4,977	4,149	828	20.0%
装置事業	7,361	4,527	2,834	62.6%	277	74	203	272.0%
加工事業	16,218	14,746	1,471	10.0%	3,413	2,735	678	24.8%
その他	1,637	1,187	449	37.9%	196	106	90	85.1%
調整額（消去）	-	-	-	-	2,240	2,000	240	-
連結損益計算書計上額	44,402	37,999	6,403	16.9%	6,624	5,064	1,559	30.8%

薬品事業

外部顧客に対する売上高は 19,184 百万円と前年同四半期に比べ 1,647 百万円（9.4%）の増収となり、営業利益は 4,977 百万円と 828 百万円（20.0%）の増益となりました。当事業部門は、金属などの表面に耐食性、耐摩耗性、潤滑性など機能性向上を目的とする化成皮膜を施し、素材の付加価値を高める薬剤などを中心に製造・販売しております。当第2四半期累計期間においても金属表面処理剤などの販売は堅調に推移しておりますが、夏場以降から国内外での需要が徐々に減少しており、先行きの見通しは厳しいものと予測されます。また、第1四半期連結会計期間より新規に連結子会社となりました大韓パーカライジング株式会社は薬品事業を営んでおり、連結子会社化に伴う当第2四半期累計期間の増加額は、売上高 723 百万円、営業利益 158 百万円であります。

装置事業

外部顧客に対する売上高は 7,361 百万円と前年同四半期に比べ 2,834 百万円（62.6%）の増収となり、営業利益は 277 百万円と 203 百万円（272.0%）の増益となりました。当事業部門は、輸送機器業界を中心に前処理設備及び塗装設備や粉体塗装設備などを製造・販売しております。海外を中心に自動車メーカー向け前処理設備の受注が順調に推移し、第1四半期累計期間では赤字で推移しておりました営業利益も、当第2四半期累計期間では黒字に転換いたしました。

加工事業

外部顧客に対する売上高は 16,218 百万円と前年同四半期に比べ 1,471 百万円（10.0%）の増収となり、営業利益は 3,413 百万円と 678 百万円（24.8%）の増益となりました。当事業部門は、熱処理加工、防錆加工、めっき処理などの表面処理の加工サービスを提供しております。自動車生産の影響を強く受ける当事業部門は、ユーザーの海外移転と国内外における生産の伸び悩みから、売上高、営業利益ともに第1四半期会計期間を下回り低調に推移いたしました。

その他

外部顧客に対する売上高は 1,637 百万円と前年同四半期に比べ 449 百万円（37.9%）の増収となり、営業利益は 196 百万円と 90 百万円（85.1%）の増益となりました。当事業部門は、ビルメンテナンス事業、不動産賃貸事業、リース事業、運送事業などを営んでおります。ビルメンテナンス事業が増収で推移するとともに、運送事業の採算性が若干好転するなど増収増益で推移いたしました。

【為替の影響額】

当期の為替換算レートは全般的に円高に推移しており、この影響により売上高で 730 百万円程度の減収、営業利益で 92 百万円程度の減益となりました。

【投資情報】

(単位：百万円)

	当第2四半期累計期間	前第2四半期累計期間
減価償却費（有形）	1,553	1,702
設備投資額	1,752	2,777
研究開発費	1,056	1,051
有利子負債	6,071	7,124

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債、純資産等の状況に関する分析)

資産合計は、前連結会計年度末と比較し 7,716 百万円増加し 138,233 百万円となりました。主な増減といたしましては、流動資産では現金及び預金が 3,960 百万円、受取手形及び売掛金が 1,923 百万円、仕掛品（未成工事支出金）などでたな卸資産が 3,043 百万円それぞれ増加いたしました。固定資産では有形固定資産が 625 百万円増加した一方で、投資有価証券が 2,500 百万円減少いたしました。

負債合計は、前連結会計年度末と比較し 4,854 百万円増加し 48,098 百万円となりました。主な増減といたしましては、流動負債では支払手形及び買掛金が 1,956 百万円、設備受注に関する前受金などで流動負債その他が 2,959 百万円それぞれ増加した一方で、長期借入金が 336 百万円減少いたしました。

少数株主持分を含めた**純資産合計**は、前連結会計年度末と比較し 2,862 百万円増加し 90,135 百万円となりました。主な増減といたしましては、利益剰余金が 3,354 百万円、少数株主持分が 527 百万円それぞれ増加した一方で、その他の包括利益累計額が 1,019 百万円減少いたしました。

以上の結果、自己資本比率は 55.0%と前連結会計年度末から 1.4%減少するとともに、一株当たり純資産は 1,226 円 19 銭と 37 円 70 銭増加いたしました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

(通期の見通し)

今後につきましては、足もとの国内経済が停滞気味に推移していることに加え、海外経済にも好転の兆しは見られず、先行きの景気は悪化していくものと見込まれます。また、期後半には消費税増税による駆け込み需要はあるものの、消費の全般的低迷とエコカー補助金制度の打ち切りなどにより、国内の自動車販売は低調に推移するものと予想されるとともに、円高の定着などに伴う自動車生産の海外シフトにより、国内の空洞化はさらに進むと思われま

す。このような厳しい経済環境において当社グループでは、原点回帰をスローガンとして先進性と独創性に秀でた表面改質技術の開発を進めるとともに、拡大する海外市場での事業展開を強化するため、海外での設備投資を積極的に進め、企業体質の強化と収益の向上に努めてまいります。

通期の見通しにつきましては、当初の検討時期から円高が進み、当社グループの業績にも影響がでておりますが、当第2四半期累計期間の業績は計画の範囲内で推移しているとの判断から変更はありません。

通期連結業績（平成25年3月期）の見通し

	金額	増減	増減率
売上高	90,000 百万円	5,241 百万円	6.2%
営業利益	12,500 百万円	1,088 百万円	9.5%
経常利益	14,000 百万円	1,098 百万円	8.5%
当期純利益	7,500 百万円	1,185 百万円	18.8%

[通期業績予想は、現時点の入手可能な情報に基づき判断したものであり、経済情勢の変化、市場の動向、為替レートの変動などにより乖離する可能性があります。]

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、これによる当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	23,632	27,593
受取手形及び売掛金	27,431	29,354
有価証券	2,164	2,261
商品及び製品	1,781	1,807
仕掛品	2,018	4,853
原材料及び貯蔵品	3,664	3,846
その他	4,124	4,660
貸倒引当金	137	117
流動資産合計	64,679	74,259
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	12,004	12,045
土地	14,554	14,972
その他(純額)	8,751	8,918
有形固定資産合計	35,311	35,937
無形固定資産	1,846	2,411
投資その他の資産		
投資有価証券	18,503	16,003
その他	10,334	9,776
貸倒引当金	158	154
投資その他の資産合計	28,679	25,625
固定資産合計	65,837	63,974
資産合計	130,517	138,233
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,861	14,817
短期借入金	2,731	2,736
1年内返済予定の長期借入金	560	448
未払法人税等	2,202	2,381
賞与引当金	2,281	2,323
その他	7,406	10,365
流動負債合計	28,042	33,072
固定負債		
長期借入金	3,223	2,886
退職給付引当金	9,876	9,898
その他	2,101	2,241
固定負債合計	15,201	15,026
負債合計	43,243	48,098

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,560	4,560
資本剰余金	3,913	3,913
利益剰余金	70,824	74,179
自己株式	3,622	3,623
株主資本合計	75,676	79,029
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,056	1,938
繰延ヘッジ損益	34	3
為替換算調整勘定	5,052	4,992
その他の包括利益累計額合計	2,030	3,050
少数株主持分	13,628	14,156
純資産合計	87,273	90,135
負債純資産合計	130,517	138,233

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	37,999	44,402
売上原価	23,389	27,989
売上総利益	14,609	16,412
販売費及び一般管理費	9,545	9,788
営業利益	5,064	6,624
営業外収益		
受取利息	53	70
受取配当金	164	170
受取賃貸料	153	163
持分法による投資利益	386	298
その他	244	304
営業外収益合計	1,002	1,007
営業外費用		
支払利息	46	39
為替差損	54	78
デリバティブ評価損	44	-
その他	41	96
営業外費用合計	187	214
経常利益	5,879	7,416
特別利益		
固定資産売却益	12	26
段階取得に係る差益	-	66
関係会社株式売却益	10	-
特別利益合計	22	93
特別損失		
固定資産除却損	5	19
投資有価証券評価損	8	115
持分変動損失	49	-
災害による損失	48	-
その他	0	2
特別損失合計	112	138
税金等調整前四半期純利益	5,789	7,371
法人税等	2,056	2,683
少数株主損益調整前四半期純利益	3,732	4,688
少数株主利益	556	726
四半期純利益	3,176	3,962

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,732	4,688
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	583	1,193
繰延ヘッジ損益	12	42
為替換算調整勘定	301	41
持分法適用会社に対する持分相当額	63	22
その他の包括利益合計	834	1,087
四半期包括利益	2,898	3,600
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,451	2,927
少数株主に係る四半期包括利益	447	673

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	5,789	7,371
減価償却費	1,761	1,599
貸倒引当金の増減額(は減少)	17	20
賞与引当金の増減額(は減少)	197	42
退職給付引当金の増減額(は減少)	164	3
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	50	31
受取利息及び受取配当金	218	240
支払利息	46	39
為替差損益(は益)	95	18
持分法による投資損益(は益)	386	298
有形固定資産除却損	5	19
投資有価証券評価損益(は益)	8	115
売上債権の増減額(は増加)	396	1,635
たな卸資産の増減額(は増加)	2,857	3,022
前渡金の増減額(は増加)	70	386
仕入債務の増減額(は減少)	205	1,907
未払金の増減額(は減少)	289	824
未払費用の増減額(は減少)	92	94
前受金の増減額(は減少)	2,561	3,612
未払消費税等の増減額(は減少)	152	224
預り金の増減額(は減少)	4	112
その他	37	109
小計	6,304	8,654
利息及び配当金の受取額	371	380
利息の支払額	81	43
法人税等の支払額	3,191	2,555
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,403	6,435
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	2,777	1,752
有形固定資産の売却による収入	38	41
投資有価証券の取得による支出	259	136
投資有価証券の売却による収入	0	0
定期預金の預入による支出	1,040	571
定期預金の払戻による収入	6	524
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	-	1,257
その他	308	456
投資活動によるキャッシュ・フロー	4,341	3,608

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	16	4
短期借入金の返済による支出	161	-
長期借入れによる収入	670	25
長期借入金の返済による支出	365	458
自己株式の取得による支出	2	1
少数株主からの払込みによる収入	221	-
配当金の支払額	607	607
少数株主への配当金の支払額	113	98
その他	150	101
財務活動によるキャッシュ・フロー	492	1,237
現金及び現金同等物に係る換算差額	41	24
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	1,472	1,613
現金及び現金同等物の期首残高	21,417	20,944
現金及び現金同等物の四半期末残高	19,945	22,558

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	薬品事業	装置事業	加工事業	計				
売上高								
(1)外部顧客に対する 売上高	17,537	4,527	14,746	36,811	1,187	37,999	-	37,999
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	697	54	22	774	659	1,434	1,434	-
計	18,235	4,581	14,769	37,585	1,847	39,433	1,434	37,999
セグメント利益	4,149	74	2,735	6,958	106	7,064	2,000	5,064

(注) 1. 「その他」は、報告セグメントに含まれない区分であり、ビルメンテナンス事業、不動産賃貸事業、リース事業、運送事業などを含んでおります。

2. セグメント利益の調整額 2,000百万円には、セグメント間取引消去150百万円、各報告セグメントに帰属しない全社費用 2,151百万円が含まれております。なお、全社費用は主に、一般管理費及び技術研究費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	薬品事業	装置事業	加工事業	計				
売上高								
(1)外部顧客に対する 売上高	19,184	7,361	16,218	42,765	1,637	44,402	-	44,402
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	658	128	4	790	641	1,432	1,432	-
計	19,842	7,490	16,223	43,555	2,278	45,834	1,432	44,402
セグメント利益	4,977	277	3,413	8,668	196	8,865	2,240	6,624

- (注) 1. 「その他」は、報告セグメントに含まれない区分であり、ビルメンテナンス事業、不動産賃貸事業、リース事業、運送事業などを含んでおります。
2. セグメント利益の調整額 2,240百万円には、セグメント間取引消去98百万円、各報告セグメントに帰属しない全社費用 2,338百万円が含まれております。なお、全社費用は主に、一般管理費及び技術研究費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

第1四半期連結会計期間より、「薬品事業」セグメントにおいて、大韓パーカライジング㈱の連結子会社化に伴い、のれんが発生しております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間においては745百万円であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 四半期毎の業績の推移(連結)

平成25年3月期(連結)

(単位:百万円)

	第1四半期 24年4月～24年6月	第2四半期 24年7月～24年9月	第3四半期 24年10月～24年12月	第4四半期 25年1月～25年3月	通算 24年4月～25年3月
売上高	20,956	23,445			44,402
売上総利益	8,153	8,258			16,412
営業利益	3,311	3,312			6,624
経常利益	3,768	3,648			7,416
税金等調整前当期純利益	3,790	3,581			7,371
当期純利益	2,065	1,897			3,962
総資産	136,176	138,233			—
純資産	89,643	90,135			—

平成24年3月期(連結)

(単位:百万円)

	第1四半期 23年4月～23年6月	第2四半期 23年7月～23年9月	第3四半期 23年10月～23年12月	第4四半期 24年1月～24年3月	通算 23年4月～24年3月
売上高	17,904	20,094	21,974	24,785	84,758
売上総利益	6,896	7,713	8,407	7,804	30,821
営業利益	2,253	2,810	3,626	2,720	11,411
経常利益	2,692	3,187	3,853	3,168	12,901
税金等調整前当期純利益	2,696	3,093	3,785	2,877	12,452
当期純利益	1,358	1,818	1,592	1,545	6,314
総資産	125,185	127,995	127,211	130,517	—
純資産	82,796	83,703	83,428	87,273	—

平成23年3月期(連結)

(単位:百万円)

	第1四半期 22年4月～22年6月	第2四半期 22年7月～22年9月	第3四半期 22年10月～22年12月	第4四半期 23年1月～23年3月	通算 22年4月～23年3月
売上高	18,698	20,004	20,850	20,930	80,483
売上総利益	7,568	7,720	8,307	7,793	31,389
営業利益	2,949	2,906	3,588	2,883	12,327
経常利益	3,236	3,234	3,818	3,359	13,649
税金等調整前当期純利益	3,215	3,217	3,821	3,021	13,275
当期純利益	1,625	1,870	2,183	1,774	7,454
総資産	118,525	120,683	122,613	124,925	—
純資産	77,002	77,917	80,206	81,303	—

(2) 報告セグメントの所在地別売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

報告セグメント	売上高				セグメント利益又は損失()				
	当第2四 半期連結 累計期間	前第2四 半期連結 累計期間	増減額	増減率	当第2四 半期連結 累計期間	前第2四 半期連結 累計期間	増減額	増減率	
薬品 事業	日本	13,491	12,901	589	4.6%	4,007	3,379	628	18.6%
	アジア	5,387	4,417	970	22.0%	789	650	138	21.4%
	欧米	305	218	86	39.7%	95	52	42	81.1%
	セグメント間の 内部売上高 又は振替高	658	697	39	5.7%	85	67	18	27.3%
	計	19,842	18,235	1,607	8.8%	4,977	4,149	828	20.0%
装置 事業	日本	5,012	2,561	2,450	95.7%	175	42	217	517.3%
	アジア	2,349	1,965	384	19.6%	35	35	0	1.5%
	欧米	-	0	0	100.0%	-	0	0	100.0%
	セグメント間の 内部売上高 又は振替高	128	54	73	136.1%	66	81	14	18.2%
	計	7,490	4,581	2,908	63.5%	277	74	203	272.0%
加工 事業	日本	11,143	10,371	771	7.4%	2,378	2,056	321	15.6%
	アジア	3,215	3,061	154	5.0%	606	489	116	23.9%
	欧米	1,859	1,313	545	41.6%	368	121	247	204.1%
	セグメント間の 内部売上高 又は振替高	4	22	17	79.6%	61	67	6	10.1%
	計	16,223	14,769	1,454	9.8%	3,413	2,735	678	24.8%
報告セグメント計	43,555	37,585	5,970	15.9%	8,668	6,958	1,709	24.6%	
その 他	日本	1,469	1,055	413	39.2%	182	97	84	86.6%
	アジア	168	132	35	27.2%	14	7	7	106.0%
	欧米	-	-	-	-	-	-	-	-
	セグメント間の 内部売上高 又は振替高	641	659	18	2.8%	0	1	1	150.6%
	計	2,278	1,847	431	23.4%	196	106	90	85.1%
合計	45,834	39,433	6,401	16.2%	8,865	7,064	1,800	25.5%	
調整額	1,432	1,434	1	0.1%	2,240	2,000	240	12.0%	
連結損益計算書計上額	44,402	37,999	6,403	16.9%	6,624	5,064	1,559	30.8%	

所在地別セグメント情報

(単位：百万円)

所在地	売上高				営業利益			
	当第2四 半期連結 累計期間	前第2四 半期連結 累計期間	増減額	増減率	当第2四 半期連結 累計期間	前第2四 半期連結 累計期間	増減額	増減率
日本	32,611	28,587	4,024	14.1%	6,886	5,635	1,251	22.2%
アジア	11,143	9,575	1,567	16.4%	1,290	1,115	174	15.6%
欧米	2,174	1,532	641	41.9%	463	174	289	166.0%
合計	45,929	39,695	6,233	15.7%	8,640	6,925	1,715	24.8%
調整額	1,526	1,696	170	10.0%	2,016	1,860	155	8.3%
連結損益計算書計上額	44,402	37,999	6,403	16.9%	6,624	5,064	1,559	30.8%

(3) 四半期毎の業績の推移(提出会社個別)

平成25年3月期(提出会社個別)

(単位:百万円)

	第1四半期 24年4月～24年6月	第2四半期 24年7月～24年9月	第3四半期 24年10月～24年12月	第4四半期 25年1月～25年3月	通算 24年4月～25年3月
売上高	10,098	10,219			20,318
売上総利益	4,108	3,816			7,924
営業利益	1,560	1,204			2,764
経常利益	2,102	2,119			4,222
税金等調整前当期純利益	2,041	2,117			4,159
当期純利益	1,336	1,385			2,722
総資産	72,881	75,697			
純資産	50,755	51,859			

平成24年3月期(提出会社個別)

(単位:百万円)

	第1四半期 23年4月～23年6月	第2四半期 23年7月～23年9月	第3四半期 23年10月～23年12月	第4四半期 24年1月～24年3月	通算 23年4月～24年3月
売上高	8,792	9,545	9,920	9,615	37,874
売上総利益	3,564	3,829	4,174	3,742	15,311
営業利益	1,033	1,263	1,607	1,072	4,977
経常利益	1,612	1,634	1,873	1,740	6,861
税金等調整前当期純利益	1,582	1,588	1,887	1,440	6,498
当期純利益	981	984	831	1,096	3,894
総資産	69,991	70,909	70,474	73,260	—
純資産	47,673	48,106	48,151	50,766	—

平成23年3月期(提出会社個別)

(単位:百万円)

	第1四半期 22年4月～22年6月	第2四半期 22年7月～22年9月	第3四半期 22年10月～22年12月	第4四半期 23年1月～23年3月	通算 22年4月～23年3月
売上高	9,687	9,558	10,044	9,352	38,642
売上総利益	4,013	3,807	4,106	3,695	15,622
営業利益	1,529	1,155	1,566	1,088	5,339
経常利益	2,022	1,477	1,696	1,905	7,102
税金等調整前当期純利益	1,999	1,466	1,694	1,587	6,748
当期純利益	1,259	923	1,033	981	4,198
総資産	68,090	69,861	70,585	71,865	—
純資産	44,695	45,527	46,496	47,319	—